

姫路商工会議所
2022年度 第1回 経営発達支援事業評価委員会
開催報告

1. 日時 2022年 6月17日(金) 14時00分～15時30分
2. 場所 当所3階特別会議室
3. 出席者 石田 勝則 氏(兵庫県中播磨県民センター 副センター長)
太田 勲 氏(公立大学法人兵庫県立大学 学長)
柳田 栄作 氏(姫路市 産業局 局長)
久保 幸一 氏(㈱日本政策金融公庫 姫路支店長兼国民生活事業統轄)
澤田 恒 氏(澤田・中上・森法律事務所 弁護士)
濱田 聡 氏(濱田聡経営会計事務所 所長・公認会計士)
吉田専務理事、浅田理事・事務局長、名倉部長、橋本

4. 議 事 事務局より、2021年度経営発達支援事業実績について説明した。その後、各委員から下記の意見があった。

「新型コロナウイルス感染症拡大の影響により一部計画通りに進んでいない項目がある中、経営発達支援事業の多くの項目で目標を達成している点を評価する」という総評を受けた。各委員からの意見については、下記のとおり。

- (1) 多岐にわたる事業を展開し、国内で課題となっているデジタル化、脱炭素にも取り組まれている。その評価が9期連続の会員数の増加によくあらわれている。
- (2) コロナ禍が故に各種給付金や補助金の支援、各種事業計画の策定支援等に積極的に取り組み、窓口相談件数が大幅に伸びるなど適切な対応を展開することによって、全体として経営発達支援計画は概ね目標を達成していると評価できる。
- (3) 巡回活動件数と窓口相談件数についても、コロナ禍特有のものと考えられ、相談等の受ける目的から考えると役割を果たしているものと評価します。創業・承継支援、生産性向上、事業支援強化などにおいて、伴走型支援が評価された結果が、新規会員数の大

幅な増加に繋がったものと評価できます。社会経済情勢においては、行先不透明な要素が多いので、引き続き小規模事業者に寄り添うきめ細やかな対応を期待します。

- (4) コロナ禍において、経営発達支援計画を着実に実施し、地域の中小企業に寄り添った取り組みは大いに評価できる。今後、コロナの影響や原材料高など、先行きが不透明なところはあるが、引き続き積極的な取り組みを期待しています。
- (5) 自己評価が「3」のところもあるが、コロナの影響によると思われるので、総体としてはよく達成されていると思われる。
- (6) 本年度の会員数の増加を、今後も維持していけるような工夫が大切になってくると思う。その際、色々な経営相談施設・事業所がある中で、商工会議所ならではの特徴をどのようにアピール・提言していくかがポイントになると思う。新年度は創立100周年事業がポイントとなるが、本年度に築いてきた事業を中断させることなく継続してやってもらいたい。

以 上